



香川県立三豊工業高等学校

〒769-1689 観音寺市大野原町大野原 5537 番地 TEL (0875)52-3011 FAX (0875)52-3012
E-mail mitokh01@kagawa-edu.jp ホームページ <http://www.kagawa-edu.jp/mitokh01/>
連絡・お知らせ(携帯電話用) <http://www.kagawa-edu.jp/mitokh02/> (携帯電話用 QR コード)

9月1日は防災の日

伊勢湾台風が襲来した翌年の1960(昭和35)年に閣議決定。関東大震災の惨事を教訓として、防災意識を高める日。毎年、各地で防災訓練が行われる。

震災と津波 教頭 織田潤二

3月11日に起こった東日本大震災は、太平洋プレートと陸側の北米プレートの境界で発生したプレート境界型の海溝型地震です。地震の規模を示すM(マグニチュード)は、数字が1大きくなるとエネルギーは $10\sqrt{10}$ (約30)倍となるため、今回の大震災(M9.0)は関東大震災(M7.9)の約4.5倍、阪神・淡路大震災(M7.3)の約350倍ものエネルギーが放出された計算になります。

宮城県沖の震源付近の海底は、地震前に比べて2.4メートルも東に動き、約5メートル盛り上がったと推定されています。それに伴う津波は岩手県宮古市で高さ3.8メートル(遡上高)の地点まで到達していました。日本で起きた自然災害で死者・行方不明者の合計が1万人を超えたのは戦後初めてで、今回はその9割以上が津波によるものでした。

さて、「水の力はすごい」と一般に言われますが、どれほどすごいのでしょうか。まず、水の重さについて、『水1立方メートルの重さ』がいくらか皆さんは知っていますか。

正解は・・・『1000kg = 1トン』です。普通車1台分です。

したがって、例えば10mの高さの津波が時速40kmで押し寄せた場合、高さ10mの水柱は10トンの重さになります。そして、津波は奥行きがあるのでそれを10mとすると、海岸線1mあたり100トンもの水の塊が、時速40kmでぶつかってくる事になります。



今後、発生が危惧されている「南海地震」「東南海地震」もプレート境界型のM8級の巨大地震で、今後30年以内におきる確率は40%、50年以内だと80%。三豊・観音寺地域の震度は5強～6弱と予想され、それに伴う津波は50cm～最大2mと考えられています。たかが『50cmの津波』と侮ってはいけません。防災研究所の計算や実験では、50cmでも時速4kmを超えると歩けなくなり、安全に避難できず流されてしまうという結果が出ています。(海岸では一般に時速20km以上です。)

【体験談】5月に所用で高知県須崎市のビジネスホテルに泊まったときにしたことは、

- ・非常口の確認(常に行っている、ドアの裏側に避難経路図有り)
- ・枕元に持参した懐中電灯
- ・地震が来た際に津波に備え高台に登る道の確認

『天災は忘れた頃にやってくる』は、高知県出身の物理学者で随筆家の寺田寅彦の言葉ですが、未曾有の大震災からわずか半年の今、危険箇所の点検とともに、もしもの場合にどう行動し連絡するのかについて、家族ともう一度確認し合ってみませんか。



平成23年  9月 行事予定表

日	曜	行	事
1	木	大掃除・始業式・服装検査・防災講話	
2	金	クラスマッチ(8:40~12:40, 食堂営業開始	雨天中止：午前中授業3~6限)
3	土	ガス溶接技能講習会(本校)	
4	日	ガス溶接技能講習会(本校)	第三種電気主任技術者試験
5	月	第2回実力テスト(1~3限①文②理③工)	4~6限：授業 (進課)
6	火		
7	水		(進課)
8	木		
9	金	第3回PTA役員・理事会	(進課)
10	土		
11	日		
12	月		(進課)
13	火		
14	水	E1保育実習	
15	木	第2回英語小テスト	
16	金		(進課)
17	土		
18	日		
19	月	敬老の日	
20	火		
21	水		(進課)
22	木		
23	金	秋分の日	
24	土		
25	日		
26	月	朝の読書週間↑	(進課)
27	火		
28	水		(進課)
29	木		
30	金		(進課)

10月の主な行事(予定)

第3回国語小テスト 10/4(火) 持久歩大会 10/7(金)
2学期中間考査 10/18(火)~10/21(金) 体育祭 10/26(水)

一日体験入学 -100名超の中学生が参加！

8月2日（火）、中学生が本校の実験・実習等を体験し、工業課程の学習について関心・理解を深め、進路選択に役立てることを目的とした一日体験入学を実施しました。最初にメカトロ部のロボット相撲やマイコンカーラリーを見学後、3グループに分かれて順番に各科の実習を体験しました。100名を超す中学生が参加し、それぞれの科に興味を持ちながら実習に参加していました。

メカトロ部による…



マイコンカーラリーの実演

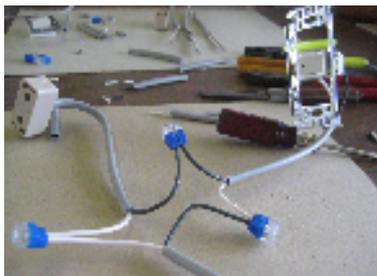


ロボット相撲の説明・実施

各科では…



機械科によるガス溶接の実習



電気科による電気工事の実習

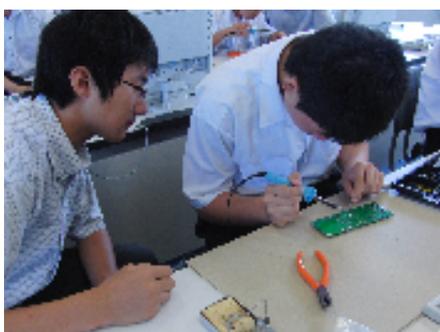


電子科によるポケコンの実習

参加した中学生たちは、各科の特色ある施設や実習に目を輝かせていました。

ミニマイコンカー講習会 -自作のマシでタイムを競う！

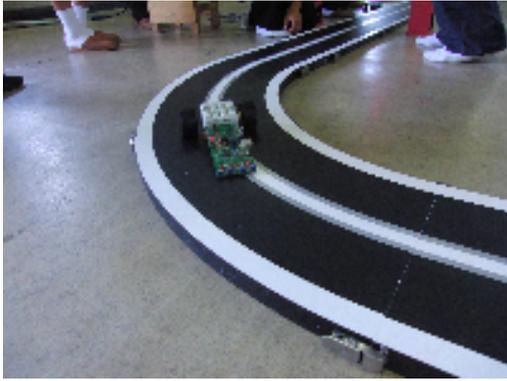
8月6日（土）、8月7日（日）の2日間、本校が独自で行っている「ミニマイコンカー講習会」が催されました。これは毎年夏休みに中学生に向けて、ものづくりに興味を持ってもらおうと取り組んでいる行事です。参加者が自分で基板に部品を取り付け、コンピュータでプログラムを作成し、そして実際にコースを走らせてタイムを競い合います。



本校生徒が補助を行います



全体での説明の様子です



実際に走らせている様子です



プログラミングを行っている様子です

今年は 11 名の中学生が参加しました。参加した中学生たちは目を輝かせながら、取り組みました。

創立50年の思い出

平成4年度(1992年度)

ブラスバンド部、野球応援演奏「10倍以上の楽隊相手には、気力のみ！！」

懸命な部員勧誘にもかかわらず、最近10年間は部員が10名を越えたことがない。しかも、部に入ってきて初めて、器楽の楽譜を見る者、楽器に触れる者が半数以上を占める有様。金管楽器等は澄んだ音が出せるようになるのにかなりな期間と努力を要するものであるから、初心者には根気がいることだ。

やっと、楽譜通りに吹けた頃、部の最大の行事、「夏の高校野球応援演奏」の時がくる。

楽器の難しさはやったことのない者にはわからない。応援団から「もっと上手に、もっと音を大きくしてほしい」との注文の声に返す言葉もない。野球場に部員が5~6名で陣取って、我が部の10倍の人数から成る対戦相手校楽隊の演奏を聴かされた時は、どんな気持ちか…。でも、「ここで、引き下がるわけには」と開き直って吹き、打ち鳴らす。

この心境や苦労を一番分かってくれたのは、毎年取材にくる新聞記者の人たちだったかも知れない。

(三豊工高30年記念誌より。)

今も当時もブラスバンド部の悩みは同じかもしれません。しかし、先輩達の意志を受け継ぎ、途絶えることなく活動を続けています。

今年も7月14日に部員たちの汗が光りました。数は他校と比べると少ないかもしれませんが、仲間を応援する気持ちはどこにも負けることはありません。



今年の応援の様子
(平成23年7月14日)



創部当時の先輩部員たちの勇姿
(昭和61年)